



一人ひとりの暮らしの 今と未来のために

～令和8年度のお金の使い道をお知らせします～

令和8年市議会第1回定例会の冒頭で内田市長が述べた施政方針の要約

我が国を取り巻く環境は、少子高齢化の進行という構造的な課題に加え、急激な物価高騰をはじめとした経済情勢の変化により、市民の暮らしは先行きが見通しにくい時代となっております。

このような状況においても、市民の生命と財産に直結する安全・安心を確保することが、行政に課せられた最大の責務であり、時代が変わっても決して揺らぐことのない根幹です。

一方で、人口構造の変化や市民ニーズの多様化

が進む現在、これまで築いてきた制度や仕組みが、将来においても最適であり続けるとは限りません。固定観念にとらわれず、想定を超えることさえも想定しながら、改革を重ねていく不断の努力と決断こそが、真に持続可能なまちを築いていくことになります。

私は、市政を預かる者として、市民一人ひとりの暮らしの今と未来に真正面から向き合い、必要な改革を一步一步着実に前へ進めていく覚悟で

す。そして、すべての市民が幸せを実感し、このまちで生き、暮らすことに誇りを持ち続けられるよう、市民の皆様とともに全力でまちづくりを進めてまいります。

施政方針の全文は市ホームページでご覧になれます